

1 教育人口等推計の概要

推計の目的

調布市の教育行政に関する諸施策を企画・立案するために必要な基礎資料として活用するため、今後の市立小・中学校児童・生徒数及び学級数を推計する。

推計の方法

毎年5月1日現在の市立学校在籍数を基礎数値として、向こう5年後までの児童・生徒数を学校別に推計した東京都作成の「教育人口等推計資料(学校別推計表)」を基にしている。

児童・生徒数

児童・生徒数は、通常学級の児童・生徒数についてのみ推計を行ったものであり、本推計値に特別支援学級の児童・生徒数は含まれていない。

学級数

学級数は、令和3年3月に「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」が改正され、小学校においては、令和3年4月から令和7年4月までに、段階的に全学年を35人学級とすることとなった。中学校においては、1年生は中1ギャップ加配のため35人、2・3年生は現行基準のとおり40人。

2 小学校の推計結果

(1) 小学校の推計結果の概要

- 児童数ピークの令和6年度までの2年間で、児童数140人以上増加し、その後減少に転じる見込み。(前年度の推計値では児童数は250人以上の増加見込みであったが、今年度は増加幅が小さくなった。)
- 学級数は、ピークの令和7年度まで3年間で、26学級の増加見込み。

(2) 要因

- 令和4年4月1日時点の小学校の学齢人口(6歳~11歳)は、前年度と比較して増加しており、未就学人口(0歳~5歳)が前年度と比較して減少しているため、令和7年度以降の減少に反映されたと思われる。
- 学級数は、法改正により、今後段階的に35人学級となるため、増加見込み。

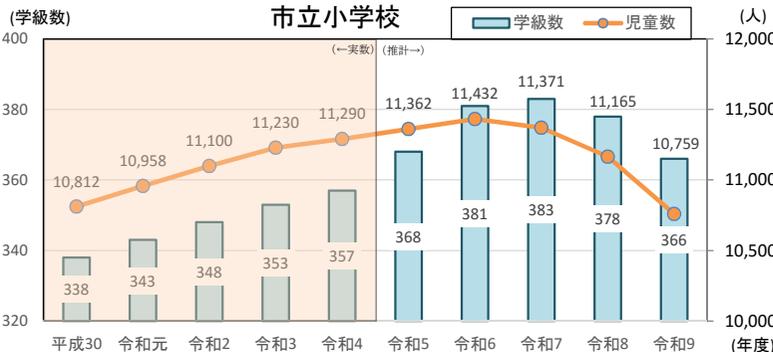
(3) 注視する個別の小学校の状況

- 第一小...令和9年度までに児童数147人、学級数6学級の増加見込み。
- 滝坂小...令和9年度までに児童数129人、学級数5学級の増加見込み。
- 石原小...令和6年度までに児童数52人、学級数4学級の増加見込み。
- 深大寺小...令和9年度までに児童数150人、学級数4学級の減少の見込み。
- 上ノ原小...令和8年度までに児童数207人、学級数5学級の減少見込み。

小学校の推計(令和5年度から9年度まで)

年度	4年度(実数)		5年度(推計)		6年度(推計)		7年度(推計)		8年度(推計)		9年度(推計)		増減 9年度-4年度	R4とR5~R9までの推計 (最大値)の比較		
	児童数	学級		増減	学級	比較年度										
第一	645	21	705	23	720	24	736	25	768	26	792	27	147	6	000000	6 R9-R4
第二	440	15	489	16	508	17	512	17	521	18	504	17	64	2	000000	3 R8-R4
第三	558	18	575	19	599	20	595	20	613	20	623	20	65	2	000000	2 R6-R4
八雲台	479	15	483	16	502	17	530	18	560	18	572	18	93	3	000000	3 R7-R4
富士見台	481	16	498	17	527	19	547	19	544	19	532	19	51	3	000000	3 R6-R4
滝坂	539	17	565	18	630	21	633	20	645	21	668	22	129	5	000000	5 R9-R4
深大寺	533	18	503	18	493	17	475	17	447	16	383	14	▲150	▲4	000000	▲4 R9-R4
上ノ原	919	28	880	28	841	27	806	25	767	25	712	23	▲207	▲5	000000	▲5 R9-R4
石原	532	16	566	18	584	20	576	20	563	19	537	19	5	3	000000	4 R6-R4
若葉	892	27	891	27	890	27	859	28	811	27	727	24	▲165	▲3	000000	1 R7-R4
緑ヶ丘	431	15	447	16	489	17	519	18	521	18	508	18	77	3	000000	3 R7-R4
染地	180	7	176	7	161	6	228	10	214	9	206	8	26	1	000000	3 R7-R4
北ノ台	814	24	779	24	779	25	787	25	779	25	748	25	▲66	1	000000	1 R6-R4
多摩川	705	21	709	23	698	23	675	22	621	21	587	20	▲118	▲1	000000	2 R5-R4
杉森	698	21	688	20	686	22	664	22	649	21	612	20	▲86	▲1	000000	1 R6-R4
杉	400	12	388	12	385	13	407	14	407	14	407	14	7	2	000000	2 R7-R4
柏野	570	19	576	19	544	19	525	18	487	17	466	15	▲104	▲4	000000	▲4 R9-R4
国領	373	13	356	12	347	12	311	12	294	12	280	12	▲93	▲1	000000	▲1 R5-R4
布田	467	15	468	16	455	16	422	15	398	14	367	13	▲100	▲2	000000	▲2 R5-R4
調布	634	19	620	19	594	19	564	18	556	18	528	18	▲106	▲1	000000	▲1 R7-R4
小学校計	11,290	357	11,362	368	11,432	381	11,371	383	11,165	378	10,759	366	▲531	9	—	—

黒枠の児童数・学級数は、令和4年度から令和9年度までの最大値を示している。(同数の場合は、一番早い年度の値を示している。)増減は比較年度における増減 令和4年度の実数とから令和5年度から令和9年度までの推計値(最大)を比較し、増減数を↑⇔↓の数で示している。



「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」(令和3年4月1日施行)

【小学校】1年生~3年生35人、4年生~6年生:40人
※ 小学校については、現在の3年生より後の学年は35人学級となり、令和7年度には、全学年が35人学級となる見込み
【中学校】1年生:35人、2年生・3年生:40人

今後の傾向

令和4年度と令和5年度~9年度までの推計(最大値)の比較
3学級以上増 ↑ 1~2学級増 → 増減なし ⇔ 1~2学級減 ↓ 3学級以上減



3 中学校の推計結果

(1) 中学校の推計結果の概要

- 令和4年度から、その後2年間は減少傾向、さらにその後の3年間は増加傾向となり、令和9年度にピークを迎える。

(2) 要因

- 児童数が増加した小学校区から、学年進行によりボリュームゾーンが中学校に移行しているためと見られる。
- 小学校で児童数が増加又は減少している地域では、学校においても同様の傾向が見られる。

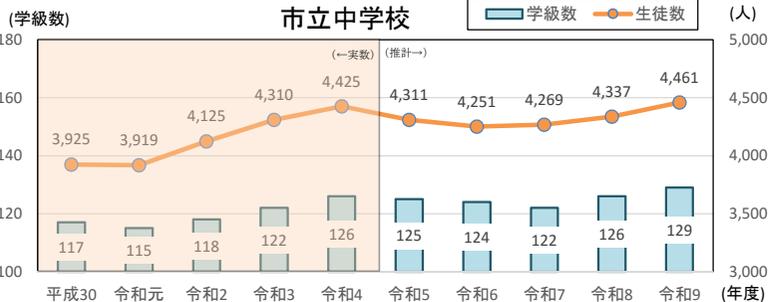
(3) 注視する個別の中学校の状況

- 調布中...令和9年度までに生徒数120人、学級数3学級の増加見込み。
- 神代中...令和9年度までに生徒数141人、学級数4学級の減少見込み。
- 第五中...令和9年度までに生徒数62人、学級数2学級の減少見込み。
- 第八中...令和9年度までに、生徒数97人、学級数3学級の増加見込み。

中学校の推計(令和5年度から9年度まで)

年度	4年度(実数)		5年度(推計)		6年度(推計)		7年度(推計)		8年度(推計)		9年度(推計)		増減 9年度-4年度	R4とR5~R9までの推計 (最大値)の比較		
	生徒数	学級		増減	学級	比較年度										
調布	609	17	621	17	644	19	658	19	689	19	729	20	120	3	000000	3 R9-R4
神代	903	25	872	25	833	23	788	21	759	21	762	21	▲141	▲4	000000	▲4 R7-R4
第三	648	18	595	17	567	16	608	17	619	18	636	19	▲12	1	000000	1 R9-R4
第四	371	11	369	11	378	12	385	12	400	13	431	13	60	2	000000	2 R8-R4
第五	755	21	705	20	689	19	683	19	695	19	693	19	▲62	▲2	000000	▲2 R6-R4
第六	379	11	372	12	358	11	352	10	349	11	343	11	▲36	0	000000	1 R5-R4
第七	438	13	438	13	431	13	434	13	445	13	448	13	10	0	000000	0 R5-R4
第八	322	10	339	10	351	11	361	11	381	12	419	13	97	3	000000	3 R9-R4
中学校計	4,425	126	4,311	125	4,251	124	4,269	122	4,337	126	4,461	129	36	3	—	—

黒枠の児童数・学級数は、令和4年度から令和9年度までの最大値を示している。(同数の場合は、一番早い年度の値を示している。)増減は比較年度における増減 令和4年度の実数とから令和5年度から令和9年度までの推計値(最大)を比較し、増減数を↑⇔↓の数で示している。



今後の傾向

令和4年度と令和5年度~9年度までの推計(最大値)の比較
3学級以上増 ↑ 1~2学級増 → 増減なし ⇔ 1~2学級減 ↓ 3学級以上減

